



## 「誰もが輝く楽園都市 熱海」を目指して



本市では、平成23年3月に「住むひとが誇りを 訪れるひとに感動を 誰もが輝く楽園都市 熱海」を将来像とした、第四次熱海市総合計画を策定し、平成23年度から平成32年度までの10年間の基本構想と、平成23年度から平成27年度までの5年間の前期基本計画に基づいたまちづくりを進めてきました。

前期基本計画では、行財政改革をはじめとし、3大建設プロジェクト（市庁舎、JR熱海駅前広場、新生熱海中学校）、シティプロモーション、観光まちづくりなど、「楽園都市 熱海」の実現に向け、市民の皆様の生活満足度と観光客の訪問満足度の両方の向上を目指した取り組みを実施してきました。

後期基本計画では、人口減少・少子高齢化の進展、東日本大震災の発生、観光を取り巻く環境の変化など前期基本計画策定後の社会情勢を鑑み、前期基本計画を継承しながらも新たな視点と発想を加えております。基本構想に掲げている「豊かな暮らしの創造」、「賑わいと癒しの創造」、「人と自然が共生する社会の創造」の3つの創造とそれぞれの取り組む柱に重点化施策、主な事業を設け、これまでの5年間で築き上げたまちの基盤をさらに強固なものにするよう、次なる5年間のまちづくりに取り組んでまいります。

また、この後期基本計画の策定では、市民の皆様にわかりやすい計画づくりに努め、各種施策の成果目標を指標で示しております。今後の計画の進捗についても、実施状況を市民の皆様と評価し、着実な進行管理に努めたいと考えております。

最後に本計画策定にあたり、活発なご審議をいただきました総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、市民・職員合同会議、パブリックコメントを通じて貴重なご意見・ご提言をお寄せいただきました市民の皆様に対し、厚くお礼を申し上げます。

平成28年3月

熱海市長 齊藤 栄